

令和5年8月24日

各報道機関 御中

宮崎県で深刻化する SFTS(重症熱性血小板減少症候群)について医師と獣医師が意見交換
～ 宮崎県医師・獣医師連携セミナーを開催します ～

この度、宮崎県で深刻化するSFTSを、国内で第一例目の診療にあたった医師である高橋徹氏(山口県立総合医療センター)と、SFTS ウイルス同定に導いた獣医師である前田健氏(国立感染症研究所)を講師として招き、宮崎県医師・獣医師連携セミナーを開催することとしましたのでお知らせします。

SFTS(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome, 重症熱性血小板減少症候群)は、マダニを媒介とする人獣共通感染症です。日本国内では、2013年に初めて報告されて以降、これまでに800例以上のSFTSの発症報告があり、西日本を中心に毎年70人以上の発症が報告されています。特に、宮崎県は患者発生数が多い地域で、近年においては、伴侶動物(ネコ、イヌ)の感染も多数報告されており、伴侶動物からヒトへの感染事例も少なからず確認されてきています。また、ヒトが10-27%、ネコが約60%と高い致死率にも関わらず、未だ有効な治療法が確立しておらず、西日本から東日本への感染拡大も危惧されており、医師や獣医師を含めた他職種で情報共有・意見交換を緊密に行い、早急な対策を取ることが必要となっています。

宮崎大学では、SFTS ウイルスによるヒトや動物の健康被害を減少させるべく、「宮崎県獣医師会との連携による獣医師・飼い主向け啓発セミナー」や「SFTS 感染動物簡易隔離用シェルター開発のためのクラウドファンディング事業」、「医学-獣医学連携による SFTS の病態解明及び予防・治療などの研究開発」などに取り組んできてきました。

今回は、これまでの取り組みの一環として、多職種で取り組むいわゆるワンヘルス・アプローチによる対応を可能とするため、宮崎ワンヘルス研究会主催(共催:宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター、後援:宮崎県医師会、宮崎県獣医師会)でセミナーを企画しました。本セミナーは、医師と獣医師が SFTS をテーマに、両者の視点から情報共有・意見交換できる、これまでにない取り組みで、本学の強みを生かしながら、地域社会に貢献できる研究・社会貢献活動を推し進めていく予定としています。

つきましては、本セミナーの取材等についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日時:令和5年9月1日(金)19:00-21:30
- 会場:宮崎県医師会会館 2F 研修室
- 講師:高橋 徹 先生(山口県立総合医療センター) テーマ:「SFTS 10年の小括とこれからの課題」
前田 健 先生(国立感染症研究所)、 テーマ:「SFTS の自然宿主の探索」
- 対象者:医療関係者、獣医療関係者
- その他:参加無料、申し込み不要(先着100名)

<セミナーに関する問合せ先>

産業動物防疫リサーチセンター 教授 岡林 環樹
TEL: 0985-58-7575
e-mail: okbys81@cc.miyazaki-u.ac.jp

<発信元>

企画総務部総務広報課(後田・廣谷)
TEL: 0985-58-7114
e-mail: kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

宮崎県医師獣医師連携セミナー

日時：9月1日（金） 19:00-21:00

場所：宮崎県医師会会館2F研修室

対象：医療関係者、獣医療関係者

講演1. 「SFTS：10年の小括とこれからの課題」

山口県立総合医療センター

血液内科 診療部長 高橋 徹 先生

講演2. 「SFTSの自然宿主の探索」

国立感染症研究所

獣医科学部 部長 前田 健 先生

パネルディスカッション

「ワンヘルスとしての多職種連携」



主催：宮崎ワンヘルス研究会（MOH研）

共催：宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）

後援：宮崎県医師会
宮崎県獣医師会

参加費無料、事前登録不要（座席：100席程度）

単位取得：日本医師会 生涯教育
CC:8 計 2.0単位

【お問い合わせ先】

宮崎ワンヘルス研究会事務局

〒889-2192宮崎市学園木花台西1-1

TEL/FAX: 0985-58-7575

okbys81@cc.miyazaki-u.ac.jp